



**漢方薬とは？**

**需要は？**

1

薬用作物産地支援協議会

## 漢方医学の流れ



- 「漢方医学」は、中国起源の医学を基に、日本で独自の発展を遂げた伝統医学。
- 中医学、韓医学は、起源は同じだが、異なった医学体系を形成している。
- 江戸中期に伝来したオランダ医学を「蘭方」と呼んだのに対して、従来の日本の伝統医学を「漢方」と呼ぶようになった。

2

薬用作物産地支援協議会

## 漢方薬の原料となる生薬

### 植物の花、葉、茎、根



### 樹木の樹皮、果皮



### 動物由来資源



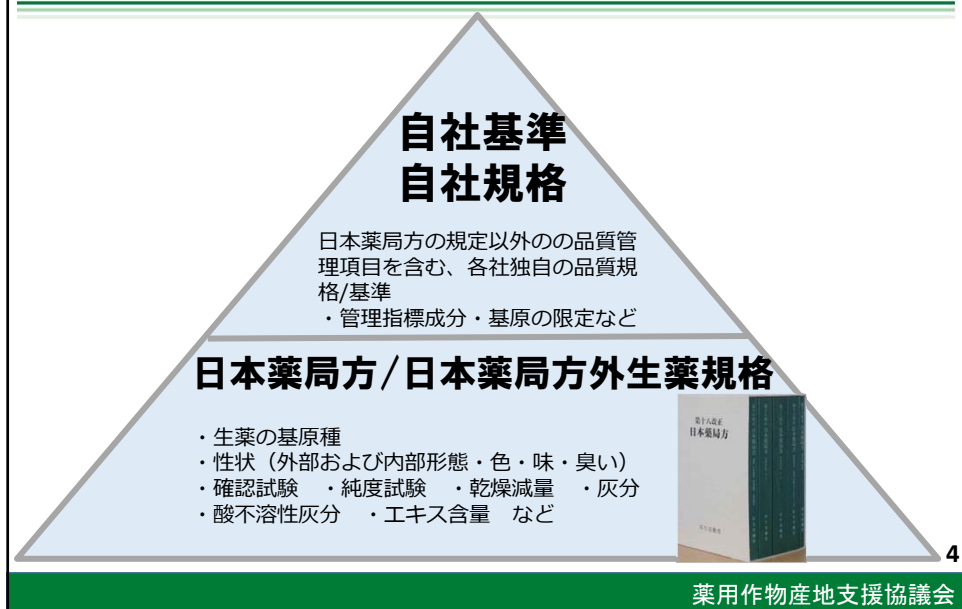
### 鉱物由来資源



3

薬用作物産地支援協議会

## 生薬の品質を安定化するために・・・ 品質規格について



## 漢方・生薬製剤の一例

### 医療用医薬品

### OTC医薬品

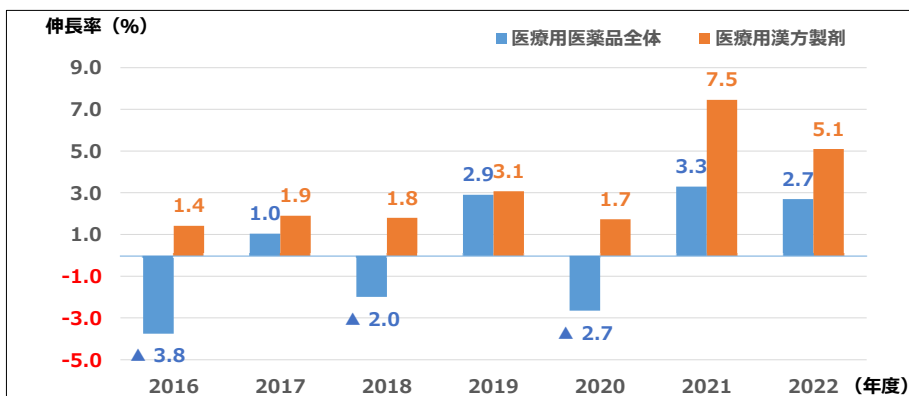


# 医療用漢方製剤の需要と 漢方生薬製剤の原料の需要

6

薬用作物産地支援協議会

## 国内医療用医薬品市場と漢方市場の推移（売上ベース）



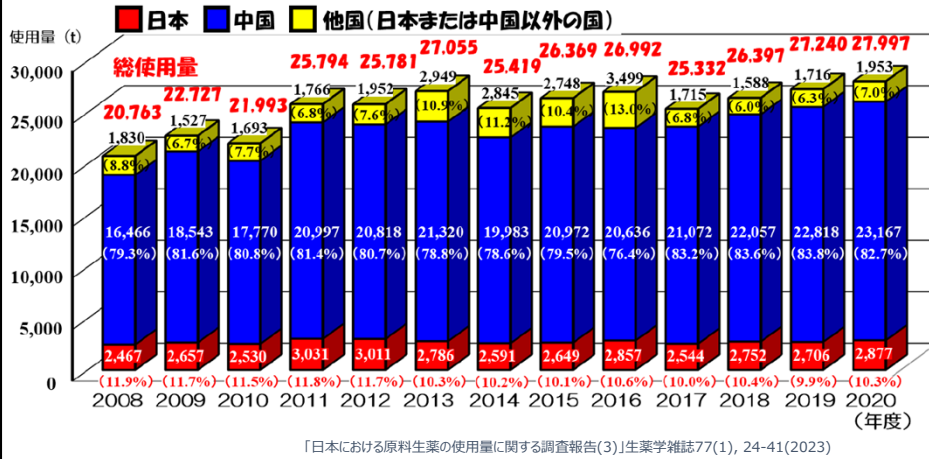
市場規模 (億円)	104,308	105,393	103,293	106,294	103,476	106,887	109,729
漢方シェア (%)	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6	1.7

Copyright © 2023IQVIA. 「JPM 2015年4月～2023年3月」をもとに独自に集計 無断転載禁止

7

薬用作物産地支援協議会

## 原料生薬の使用量と生産国（2008-2020年度）



8

薬用作物産地支援協議会

## 2008～2020年度 全使用量上位20品目

	全使用量(kg)	国内産使用量(kg)	国産比率
合計(生薬全体)	25,372,768	2,727,504	11%
1 カンゾウ(甘草)	1,620,117	15	0.001%
2 シャクヤク(芍薬)	1,480,265	42,660	3%
3 ブクリョウ(茯苓)	1,473,991	270	0.02%
4 センナジツ(センナ実)	1,187,954		
5 ケイヒ(桂皮)	1,046,739	55	0.005%
6 ハンゲ(半夏)	839,865		
7 タイソウ(大棗)	837,817		
8 トウキ(当帰)	828,010	191,929	23%
9 ソウジュツ(蒼朮)	815,640		
10 コウイ(膠飴)	805,720	805,720	100%
11 ニンジン(人参)	713,872	1,021	0.1%
12 マオウ(麻黄)	619,517		
13 サイコ(柴胡)	580,879	19,444	3%
14 センキュウ(川芎)	536,947	413,363	77%
15 カツコン(葛根)	510,632	27	0.01%
16 ヨクイニン(薏苡仁)	483,189	229	0.05%
17 タクシャ(沢瀉)	470,209		
18 ビャクジュツ(白朮)	469,388		
19 ショウキョウ(生姜)	466,446	380	0.1%
20 ジオウ(地黄)	431,687	2,452	1%

2008～2020年に  
使用実績のある生薬は  
305種類  
※数字は13年間の平均

9

薬用作物産地支援協議会

## 2008～2020年度 国内産生薬使用量 上位20品目

		国内産生薬使用量(kg)	国産比率
	合計(国内産の生薬全体)	2,727,504	11%
1	コウイ(膠飴)	805,720	100%
2	センキュウ(川芎)	413,363	77%
3	トウキ(当帰)	191,929	23%
4	クマザサ(熊笹葉・隈笹葉)	151,449	100%
5	チンピ(陳皮)	125,110	39%
6	コウボク(厚朴)	78,168	41%
7	ポウイ(防已)	75,593	64%
8	クロモジ(黒文字・ウシヨウ)	74,929	100%
9	コウベイ(粳米)	62,967	60%
10	サンショウ(山椒)	59,114	100%
11	ボレイ(牡蛎)	55,642	61%
12	ブシ(附子)	47,740	42%
13	モクツウ(木通)	46,571	96%
14	ポウショウ(芒硝)	46,355	90%
15	キジツ(枳実)	43,266	44%
16	シャクヤク(芍薬)	42,660	3%
17	アキョウ(阿膠)	42,479	91%
18	ダイオウ(大黃)	31,121	8%
19	オウギ(黄耆)	26,651	8%
20	ショウバク(小麦)	26,141	99%

2008～2020年に  
国内産生薬の  
使用実績のある生薬は  
123種類

※数字は13年間の平均

10

薬用作物産地支援協議会

## 2015・18・21年度 国内産生薬調達量 上位品目

	生薬名	調達量(kg)		生薬名	会社数
1	センキュウ(川芎)	415,137	1	センキュウ(川芎)	13
2	トウキ(当帰)	223,868	2	サンショウ(山椒)	11
3	チンピ(陳皮)	119,075	3	トウキ(当帰)	11
4	サンショウ(山椒)	78,157	4	シャクヤク(芍薬)	10
5	ポウイ(防已)	62,088	5	コウベイ(粳米)	9
6	クロモジ(黒文字・ウシヨウ)	52,369	6	ガイヨウ(艾葉)	8
7	シャクヤク(芍薬)	43,382	7	インチンコウ(茵陳蒿)	6
8	コウベイ(粳米)	41,624		サイコ(柴胡)	6
9	オウギ(黄耆)	38,600		ショウバク(小麦)	6
10	ショウバク(小麦)	34,306		チクセツニンジン(竹節人參)	6
11	モクツウ(木通)	33,977		ドクカツ(独活)	6
12	コウボク(厚朴)	33,932	12	カノコソウ(吉草根)	5
13	キジツ(枳実)	31,968		チンピ(陳皮)	5
14	クマザサ(熊笹葉・隈笹葉)	27,362	14	キジツ(枳実)	4
15	ボクソク(撲楸)	22,084		サンヤク(山薬)	4
16	ソヨウ(蘇葉)	20,213		シャゼンソウ(車前草)	4
17	サイコ(柴胡)	17,252		ジュウヤク(十薬)	4
18	ブシ(附子)	16,343		センブリ(当薬)	4
19	アカメガシワ(赤芽榭)	16,044		チャヨウ(茶葉)	4
20	バクガ(麦芽)	13,639		ナンテンジツ(南天実)	4
21	カノコソウ(吉草根)	13,636		ハトムギ(鳩麦)	4

2015・18・21年度に  
調達実績のある品  
目は89品目

※調達量の数字は  
2015・18・21年度の  
平均

※会社数は、重複  
算入なし

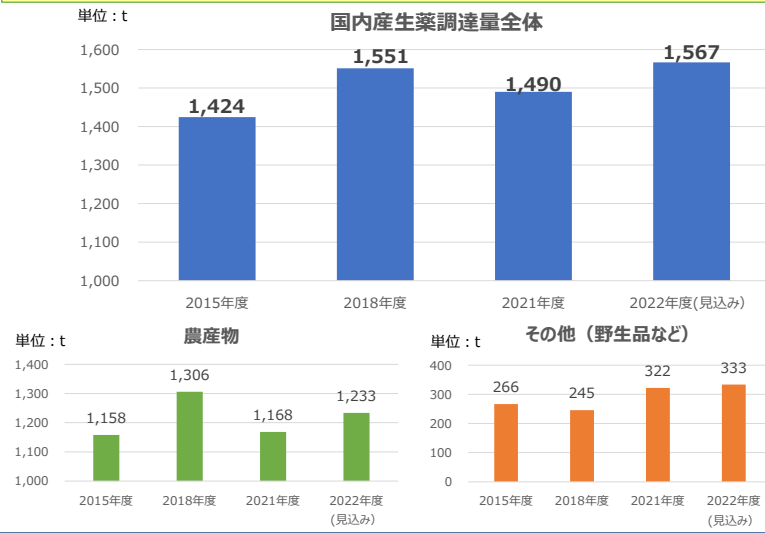
※調達量は、農産  
物品目のみ抽出

11

薬用作物産地支援協議会

## 国内産生薬調達量推移

2015年度に比べ、2021年度は天候不順などの理由により一旦調達量が下がるが、2022年に回復傾向となっている。



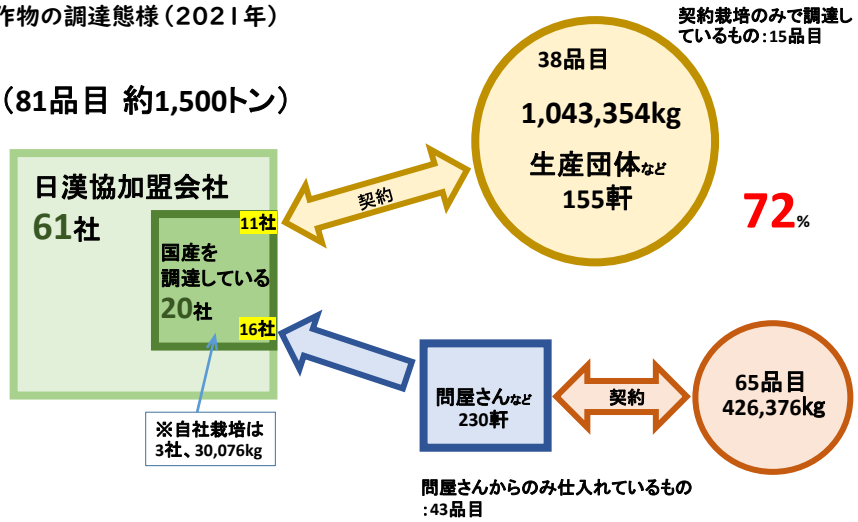
## 日本加盟会社の 生薬調達態様について



# 日本における生薬流通実態について

薬用作物の調達態様(2021年)

(81品目 約1,500トン)



薬用作物には市場がなく、何らかの契約により生産が行われている

14

薬用作物産地支援協議会

薬用作物のうち農産物の調達態様(2021年)

(62品目 約1,200トン)



主な契約栽培品目

	生薬名	調達量(kg)
1	センキュウ(川芎)	301,910
2	トウキ(当帰)	202,743
3	チンピ(陳皮)	146,529
4	オウギ(黄耆)	62,976
5	サンショウ(山椒)	42,629
6	キジツ(枳実)	34,975
7	シャクヤク(芍薬)	30,758
8	サイコ(柴胡)	13,321
9	ソヨウ(蘇葉)	12,958
10	ブシ(附子)	9,193
11	カノコソウ(苜蓿根)	8,959

主な問屋経由品目

	生薬名	数量(kg)
1	センキュウ(川芎)	29,064
2	サンショウ(山椒)	21,418
3	バクガ(麦芽)	19,904
4	ジュウヤク(十薬)	12,412
5	ガイヨウ(艾葉)	12,180
6	ピウヨウ(枇杷葉)	9,560
7	センブリ(当薬)	9,276

※コウベイ(稗米)、ショウバク(小麦)を除く

15

薬用作物産地支援協議会



# 国内薬用作物生産拡大の意義と これまでの取り組み

16

薬用作物産地支援協議会

## 国内での薬用作物生産拡大の意義

### 医薬品メーカー：

需要量の増加に対する原料調達リスクの軽減および国内自給率の向上  
これまでの生産者様と取引関係を維持継続

### 農林水産省：

複合経営の一品目として経営の安定化や効率化に役立ち、  
地域農業の振興を図るために必要な作物として重要な役割を果たしている  
(薬用作物をめぐる事情より)

### 厚生労働省：

薬用作物・生薬調達先の複線化の推進による医薬品の安定供給

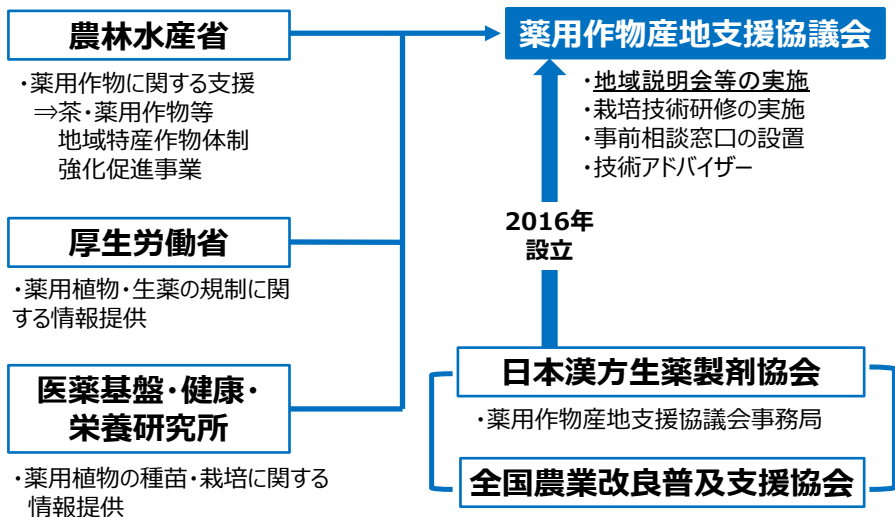


国内での薬用作物生産拡大継続は

**必要不可欠** 17

薬用作物産地支援協議会

## 茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業のスキーム



18

薬用作物産地支援協議会

## マッチング概況

### 10年間のマッチング概況

2023年3月31日時点 日漢協調べ(2023)

年度⇒	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
①折衝開始	45	36	15	12	8	1	2	7	9	1	136
②折衝不成立	40	33	14	12	6	1	0	5	2	0	113
③試作継続中	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
④取引開始	5	3	1	0	2	0	2	2	5	0	20
⑤取引継続中	3	3	1	0	1	0	2	0	5	0	15
⑥取引終了	2	0	0	0	1	0	0	2	0	0	5

- ①折衝開始：生産者と医薬品メーカーが具体的に話し合いを開始した件数  
 ②折衝不成立：折衝開始①したが、取引開始または試作開始に至らなかった件数  
 ③試作継続中：折衝開始①の後、試作に進み、2023年3月末時点で試作を継続中の件数（取引開始前）  
 ④取引開始：折衝開始①の後、生産者が医薬品メーカーと売買契約を締結した件数  
 ⑤取引継続中：上記④のうち、2023年3月末時点で取引継続中の件数  
 ⑥取引終了：取引開始したがその後終了した件数（上記④のうち2023年3月末時点で取引終了済）

19

薬用作物産地支援協議会

## 不成立/取引終了との主な要因

### ②折衝不成立

- ◆価格(単価・反収)
- ◆生産者側の生産規模が小さい
- ◆気候・環境条件

### ⑥取引終了

- ◆価格(単価・反収)
- ◆生産量が少なすぎる(生産規模拡大ができない)
- ◆採算ベースに乗らず、意欲低下
- ◆行政担当者の変更
- ◆技術不足(研究データ不足)

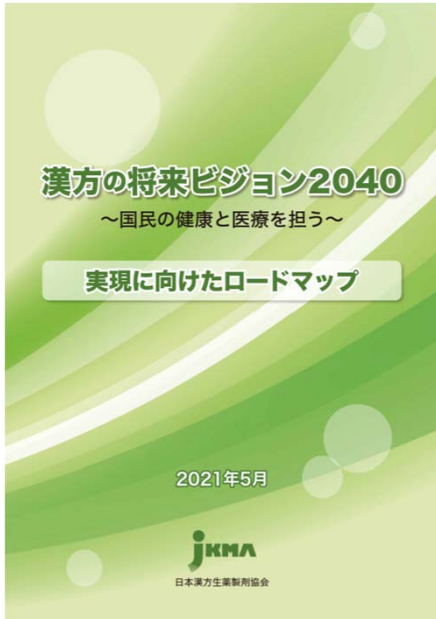
20

薬用作物産地支援協議会

## 日漢協2030年調達計画について

21

薬用作物産地支援協議会



漢方の将来ビジョン2040  
～国民の健康と医療を担う～

実現に向けたロードマップ

2021年5月

JKMA  
日本漢方生薬製剤協会

日本漢方生薬製剤協会HP 漢方の将来ビジョン2040 <https://www.nikkankyo.org/action/action5.htm>

22  
薬用作物産地支援協議会

## 漢方の将来ビジョン2040 日本漢方生薬製剤協会

漢方の将来ビジョン2040

1. さらなるエビデンス集積と有用性の確立
2. 原料生薬の継続的安定確保と国産生薬生産量の拡大
3. 原料生薬から最終製剤までの品質管理の高度化と製品質保証の体制強化および医療用漢方製剤等の安定供給
4. ガイドライン策定に向けた医療用漢方製剤の新剤形開発・効能拡大に関する研究の推進
5. 一般用漢方製剤および生薬製剤の開発推進と情報提供体制の強化
6. コンプライアンス遵守の体制強化と信頼性向上
7. 自然環境の保全・生薬資源の保護など地球環境や生物多様性へ配慮した事業活動の推進と漢方製剤等の国際展開の推進
8. 産官学連携強化とアウトリーチ活動の充実

23  
薬用作物産地支援協議会

# 漢方の将来ビジョン2040 日本漢方生薬製剤協会

## ビジョン2 原料生薬の継続的安定確保と国産生薬生産量の拡大

原料生薬の必要量の確保に努めます

10年後のあるべき姿	対応すべき課題	2021	2025	2026	2030	
●日中交流会の定期実施等により原料生薬の安定調達ができているほか、国内の気候・土壌に適した生薬の生産量が2015年比で約1.5倍になっている	①原料生薬の必要量確保 ▶原料生薬の継続した使用量等実態把握 ▶国産生薬の生産量拡大	原料生薬の必要量確保 (原料生薬の栽培化の推進、産地複線化の情報共有、原料生薬の安定確保のための日中交流) 使用量等調査 (2年に1度実施) 国産生薬の生産量拡大 (2015年度比約1.5倍) 農林水産省の支援事業のもと、農業普及協会との共同事業を推進 ・国内栽培に向けた相談窓口事業 ・地域説明会、意見交換会の実施など 国産生薬の生産量等に関する調査・分析 国産生薬の生産量等に関する調査・分析 国産原料生薬の価格調査 (必要に応じて調査)				
	②原料生薬の栽培化の推進 ▶国産生薬の栽培化拡大 ▶優先品目の栽培化支援	原料生薬の栽培化の推進 野生品と栽培品の生産量等調査および栽培化候補品目 栽培化品目の提案と推進 検討 生薬国内生産検討班による栽培化支援 (トウキ・ミシマサイコ等)				
	③原料生薬の安定確保のための日中交流 ▶中国医保商會を軸とした日中協力関係の構築、維持、強化	毎年の交流会開催を通じた強固な協力関係の確立 相互利益をもたらすテーマを議論できる交流会の開催				

24

薬用作物産地支援協議会

## 日漢協2030年調達計画

生薬名 (調査対象のみ・50音順)	①調達量実績調査			②調達量見込・計画調査										備考
	2015年度 実績kg	2018年度 実績kg	2021年度 実績kg	2022年度 見込kg	2023年度 計画kg	2024年度 計画kg	2025年度 計画kg	2026年度 計画kg	2027年度 計画kg	2028年度 計画kg	2029年度 計画kg	2030年度 計画kg		
1 アマチ (甘草)	1,705	1,479	1,120	1,451	1,150	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250		
2 インチンコウ (黄連)	3,109	1,648	2,908	1,900	1,100	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250		
3 ウコン (鬱金)	580	100	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20		
4 エイジツ (芫実)			17											
5 エンメイソウ (延命草)	788	1,980	1,280	1,620	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323		
6 オウギ (黄耆)	30,960	21,865	62,976	53,637	62,000	69,000	74,000	82,000	87,000	91,000	91,000	91,000		
7 オウレン (黄連)	1,265	679	827	723	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
8 オトギリソウ (黄芩)	170	96	349	329	294	294	294	294	294	294	294	294		
9 ガイヨク (艾葉)	11,163	11,552	13,875	19,708	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532		
10 カノソウ (苜蓿根)	15,142	10,906	14,861	13,809	12,573	13,451	18,381	23,352	24,051	24,051	24,051	24,061		
11 カンキョウ (乾姜)			2,296	1,119										
12 カソウ (甘草)		1,028	1,756	1,536										
13 キクカ (菊花)			5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	
14 キジツ (枳実)	23,825	34,587	37,492	40,557	40,177	42,177	44,177	46,177	47,177	48,177	48,177	48,177		
15 クロヨク (枸杞葉)	2,062	789	1,848	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026		
16 クロヤマ (黄芩)	312	6,130	1,132	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973		
17 ゲンノショウコ	1,231	524	1,006	1,841	1,520	1,620	1,720	1,720	1,720	1,720	1,720	1,720		
18 コウジン (延胡)	95	350		400	300	300	300	300	300	300	300	300		
19 トウキ (当归)		3,577		1,186										
20 プ			9,856					2,500				2,500		
21 プ	23,243		9,193		1,000	38,000		40,000	41,000	42,000	43,000	43,000		
22 ベニササ	140	200	60	100	100	100	100	100	100	100	100	100		
23 ホウフク (黄芩)			276	257	350	350	350	350	350	350	350	350		
24 ボタンビ (牡丹皮)			70											
25 マタビ (モチシヨウ・木天蓼)	20	220												
26 マンゲイ (黄精)			90	56	110	110	110	110	110	110	110	110		
27 モッコウ (木香)	8,055	3,346	3,790	2,228	10,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
28 ヤクモク (黄芩)		2,346	1,978	2,148	2,300	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260		
29 レンセンソウ (遠志)	700	402	300	246	240	240	240	240	240	240	240	240		
30 ワキョウカ (枳壳)	1,823	523	2,517	3,900	4,060	2,060	2,060	2,060	2,060	2,060	2,060	2,060		
31 アカツツ (赤芍)			7,286	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502		
32 品目未設定													100,000	
合計	1,157,951	1,305,905	1,168,273	1,233,311	1,271,640	1,320,908	1,400,078	1,489,209	1,543,948	1,643,808	1,643,548	1,744,118		
2015年との対比 (倍)		1.13	1.01	1.07	1.10	1.14	1.21	1.29	1.33	1.42	1.42	1.51		

25

薬用作物産地支援協議会





# 現地適応性試験圃場の状態

2023年実施：長野県安曇野市 安曇野みらい農園



カノコソウは2023年10月に収穫、データ収集を行い、生産物(=苗)を配布する。  
 シャクヤクは2024年10月に収穫～配布。

28

薬用作物産地支援協議会

## カノコソウの種苗配布について



29

薬用作物産地支援協議会



# カノコソウを作ってみませんか

薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ | よくある質問 | アクセス  
 相談窓口 ☎ 03-6264-8087  
 お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | イベント | 作ってみませんか | 産地化事例 | マッチング支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる  
 ホーム >> 作ってみませんか >> カノコソウを作ってみませんか？

## カノコソウを作ってみませんか？ ～試作栽培・生産者募集～

カノコソウはオミナエシ科の一年草で、冷涼な地での栽培が適しています。根と根茎は生薬吉草根（キソウコン）として用いられ、鎮静作用や睡眠の改善作用のほか、身体をリラックスさせる効果があるといわれています。現在、国内での使用量は年約20トンで、その約半分が国内産です。日薬協ではこのカノコソウを重点品目の一つとして認定し、生産希望者を募りつつ東方薬メーカーとのマッチングを進めています。カノコソウがどんな作物か、試しに作ってみたいという方に、少量の苗を無償提供します（送料は応募者でご負担いただきます）。

2023年8月2日開催「重点品目説明会」でカノコソウを取り上げます  
 説明会への参加は [こちら](#) からぜひお申し込みください

2023年度応募フォーム

下記の応募条件等をご一読のうえ、ご応募ください



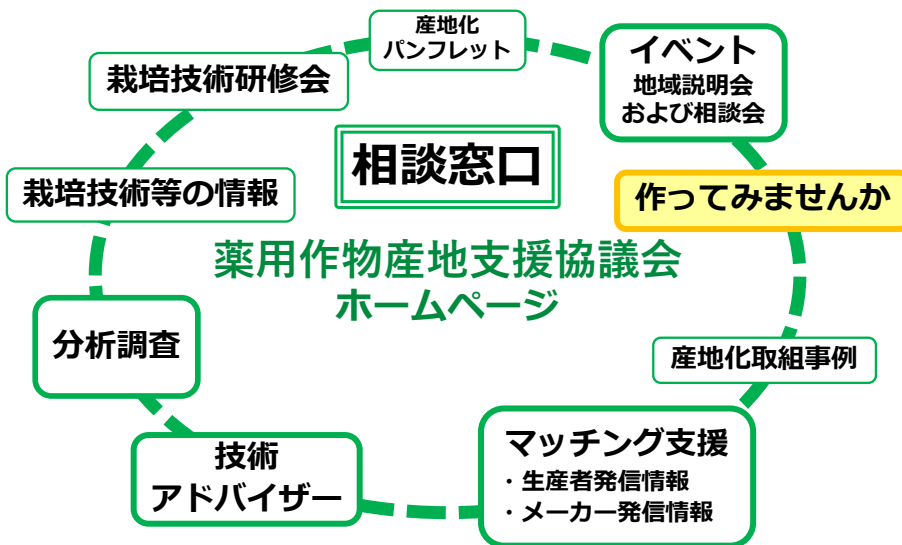
### カノコソウ基本データ：

生薬名「吉草根」（キソウコン）  
 2020年度使用量 18,732kg（うち47%にあたる8,904kgが国内産）※2022年日薬協調べ  
 2021年度国内調達量 14,861kg（国内で18番目に調達が多い生薬）※2022年日薬協調べ  
 主な栽培地 北海道・岩手県・奈良県など ※2021年日本特産産物協会調べ

30

薬用作物産地支援協議会

## 薬用作物に関する情報を集めたホームページ



31

薬用作物産地支援協議会

# 相談窓口

産地化を希望する生産者等からの相談・質問に対応する。  
お問い合わせフォームのほか、メール、電話、FAXにて対応

[お問い合わせ](#) [よくあるご質問](#) [アクセス](#)  
 相談窓口 ☎ 03-6264-8087  
[お問い合わせフォームをご利用ください](#)

[ホーム](#) | [組織概要](#) | [イベント情報](#) | [産地化事例](#) | [売買支援](#) | [技術アドバイザー](#) | [分析調査](#) | [調べる](#)

ホーム >> お問い合わせ

**生薬（薬用作物）の取り組み等に関するご相談**

[お問い合わせフォーム](#)

[よくあるご質問](#)

[薬用作物関係機関 連絡先](#)

E-mail又はFAXでも受け付けています  
☎ 03-6284-2534  
✉ soudan@yakusankyo-n.org

用紙のダウンロード

[Excel形式](#) [PDF形式](#)

現在、当協議会では新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、交代で在宅勤務（リモートワーク）を実施しています。  
お問い合わせにつきましては、可能な限り【お問い合わせフォーム】をご利用くださいますようお願いいたします。

生薬（薬用作物）の取り組み等に関するご相談は、お問い合わせフォームから必要事項を入力し、送信してください。  
・TEL (03-6264-8087) ・FAX (03-6284-2534)  
こちらからのお問い合わせも受付しております。  
FAXの場合は、用紙をダウンロードの上お問い合わせ項目をご記入いただき、送信してください。

- ・お返事を差し上げるまでにお時間がかかる場合があります。
- ・お問い合わせの内容によってはお答えできない場合もありますことをご了承願います。
- ・個人情報等は日薬協プライバシーポリシーに準じ適切に管理いたします。

現在、多数のお問い合わせを頂戴しております。  
ご相談には順次対応しておりますが、ご回答を差し上げるまでにご手紙を頂戴しております。何卒ご了承のほど、宜しくお願い申し上げます。

連絡先：薬用作物産地支援協議会 日薬協事務局  
担当 藤田  
Tel : 03-6264-8087  
Email:soudan@yakusankyo-n.org

# 産地化パンフレット

対象：新規に薬用作物を取り組むことを検討している生産者。  
内容：薬用作物に取り組む上での、注意すべき点や情報収集の方法について一般的な流れを紹介する。

これから始める！  
**薬用作物の栽培ガイド**

- 1 薬用作物に取り組むっていいの？
- 2 薬用作物を栽培する5STEP
- 3 新規で薬用作物を始める5STEP
- 4 薬用作物のあるあるQ&A

**1 なぜ薬用作物に取り組むといいの？**

健康志向の高まりや食生活の変化、環境意識の高まりなどにより、薬用作物の需要は年々増加しています。また、健康志向の高まりや食生活の変化、環境意識の高まりなどにより、薬用作物の需要は年々増加しています。

**3 新規で薬用作物を始める5STEP**

STEP 1 生産者として確認する  
STEP 2 地産地消に貢献  
STEP 3 販路開拓を支援する

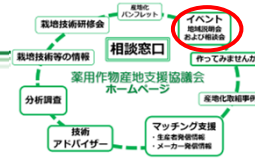
**4 薬用作物のあるある**

① 産地化のメリット  
② 注意するポイント  
③ 販路開拓で悩んでいる？

33

## 地域説明会および相談会

産地化を目指す地域(関係者)と実需者との情報の交換・共有を図るための説明会



### 2023年8月2日 薬用作物 重点品目説明会(カノコソウ)および相談会

- ・薬産協 取り組み説明
- ・カノコソウ栽培の実際
- ・質疑応答

### 2023年9月5日 薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会

- ・薬用作物の産地化までの道のり 【日本漢方生薬製剤協会】
- ・薬用作物を対象とした補助事業等について 【農林水産省】
- ・漢方製剤の現状等について(薬局方、薬価、医薬品原料、食薬区分等) 【厚生労働省】
- ・薬用植物資源研究センターからの資源情報提供 【医薬健康研・薬用植物資源研究センター】
- ・国内生薬の栽培現場を取り巻く環境について 【地域特産物マイスター】
- ・質疑応答

### 2023年12月5・6日 [栽培技術研修会 合同開催]

### 薬用作物 重点品目説明会(カノコソウ・シャクヤク)および相談会

- 1日目: 現地研修 13:00~16:00(現地参加のみ)
- 2日目: 薬用作物に係る説明会

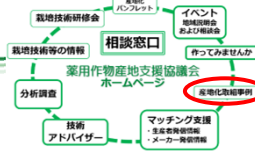
- ・薬産協 取り組み説明
- ・カノコソウ栽培の実際
- ・シャクヤク栽培の実際
- ・質疑応答
- ・情報交換会

34

薬用作物産地支援協議会

## 産地化取組事例

実際に産地化に成功している、または成功に向けて取り組んでいる生産団体の様子・経緯を事例紹介としてまとめている。



### 産地化取組事例紹介

過去の地域説明会におきまして、薬用作物の産地化に取り組まれている生産団体の事例を知りたい、との要望が多く寄せられました。平成30年度よりその声にお応えし、地域説明会におきまして各地域での産地化取組事例を紹介しております。その内容を掲載いたします。ぜひご参照ください。

#### 令和4年度 事例紹介

事例先	説明会開催地	題名
徳州人蔘産地の取組み/2A佐久漢方徳州人蔘産地 (長野県)	東北(福島県)	事例を見る
オタネニンジンの主産〜福島県〜清水薬業株式会社 (福島県)	東北(福島県)	事例を見る
農薬×観光×販売 ボタンと雲州人蔘の農薬歴史継承と今後の農薬ビジネス/由志園アグリファーム株式会社 (豊橋県)	東北(福島県)	事例を見る
長野県における薬草の産地化への取り組み状況について/長野県農政部 薬草園産課 野菜・特産係 (長野県)	関東・北陸(長野県)	事例を見る
採取農薬でノウハウの取組み/認定特定非営利活動法人UNE (新潟県)	関東・北陸(長野県)	事例を見る
三重県鈴鹿地域における薬用作物の取組/三重県農業研究所 花種木研究課 (三重県)	近畿(奈良県)	事例を見る
宇陀市薬草協議会の役割と大和当帰の栽培事例/宇陀市薬草協議会 (奈良県)	近畿(奈良県)	事例を見る
佐藤薬品工業の取組み/佐藤薬品工業株式会社 和漢薬研究所 (奈良県)	近畿(奈良県)	事例を見る

35

薬用作物産地支援協議会

# マッチング支援

## 生産団体様と実需者（漢方薬メーカー）とのマッチングの場

**マッチング支援**  
 薬用作物は「市場」が存在せず、生産者と漢方薬メーカー（実需者）との間で「合意契約」する機会が多いのが現状です。そのため本サイトではメーカーと生産団体様のマッチング支援を行うことを目的とします。



【生産者発信情報】登録申込フォームはこちら

**【生産者発信情報】**  
 ・販売を希望する薬用作物がある方  
 ・薬用作物生産を計画している方  
※計画が具体的でない場合はまず相談窓口にお問い合わせてください。

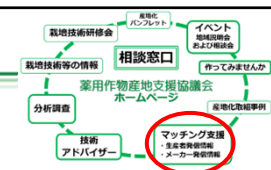
**【メーカー発信情報】（準備中）**  
 ・メーカーが購入を希望する薬用作物  
 ・メーカーが新規生産地品産出を希望する品目と条件

**生産団体様向け・マッチング支援ご利用方法**  
 生産団体様には、次の2つの方法でご利用いただけます。  
 (1) 「生産者発信情報」に登録する  
 一括登録フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。当協議会にて審査後、ホームページに掲載いたします。  
 (2) 「メーカー発信情報」を閲覧し、マッチングを申請する  
 「メーカー発信情報」には、（メーカーが購入を希望する薬用作物の産地）を提示していますので、ご覧ください。興味のある産地情報があれば選択して、所定のフォームに入力の上、送信してください。

**メーカー向け・マッチング支援ご利用方法**  
 メーカーには、次の方法でご利用いただけます。日本協会委員会以外でも応募できます。  
 (1) 「メーカー発信情報」に登録する  
 一筆録ご希望の場合は、当協議会事務局までメールにてお問い合わせください。  
 ① studen@yakusanryo-n.org  
 (件名「メーカー発信情報掲載希望」をお願いします)  
 (2) 「生産者発信情報」を閲覧し、マッチングを申請する  
 「生産者発信情報」には、（生産団体様が販売または今後生産を希望する薬用作物の産地）を提示していますので、ご覧ください。興味のある産地情報があれば選択して、所定のフォームに入力の上、送信してください。

国内において薬用作物には市場が無い。そこで、医薬品メーカーと生産団体様との売買成立を支援する。

マッチング支援では次のような情報をご利用いただけます。  
 ・生産団体様が販売を希望する薬用作物の情報  
 ・メーカーが購入を希望する薬用作物の情報



# マッチング支援（生産者発信情報）

## 生産団体様が販売を希望する生薬の情報を掲載。



**ご利用の流れ（生産者向け）**  
 このページの下部にある「**【生産者発信情報】登録申込フォーム**」にて登録希望をお送りください。当協議会で審査後、ホームページに掲載いたします。

**ご利用の流れ（メーカー向け）**

- 「生産者発信情報一覧はこちら」をクリックして掲載案件一覧をご覧ください。購入を希望する掲載情報から「取引を希望する」をクリックしてください。
- 入力フォームに必要事項を入力の上送信してください。
- 事務局では毎月2回（15日と末日）を締め日とし、応募を取りまとめます。  
 ○事務局から応募したメーカーへ、当該案件の「生産者様の連絡先」をお知らせします。  
 ○事務局から生産者様へは、応募した「メーカーの会社名」をお知らせし、2週間以内に連絡がある旨をご案内します。
- メーカーと生産者様とで直接交渉をおこなっていただきます。  
 ○交渉開始となったメーカーには、毎年度末に進捗状況をご報告いたします。
- 交渉がまとまった場合、売買・試作栽培等の契約の成立となります。

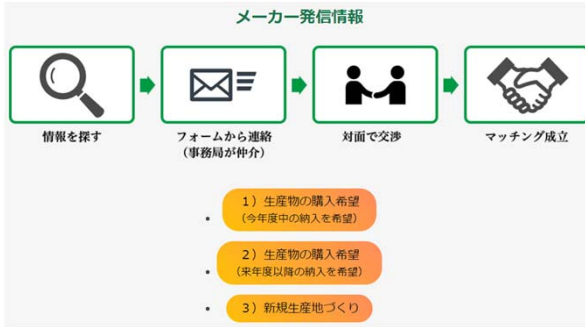
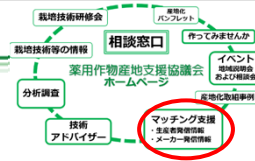
医薬品メーカー側は情報を閲覧し、取引希望の場合には連絡を入れる。  
 ※生産団体様は、  
 ①今年度納品可能（50kg以上）  
 ②今年度納品可能（50kg未満）  
 ③今後薬用作物の生産を希望  
 の3種類から選んで応募できる。

**【生産者発信情報】登録申込フォーム**  
掲載情報によって登録申込フォームが異なりますので、①、②、③のいずれか該当するものを選んでお申し込みください。

- ①今年度納品可能（販売産地 50kg以上）**（販売可能）** **な方はこちら**  
 ①中山県 (Echoc)  ②中山県 (PFF)
- ②今年度納品可能（販売産地 50kg未満）**（販売可能）** **な方はこちら**  
 ②中山県 (Echoc)  ②中山県 (PFF)
- ③今後薬用作物の生産をお考えの方は**こちら**  
 ②中山県 (Echoc)  ②中山県 (PFF)

# マッチング支援（メーカー発信情報）

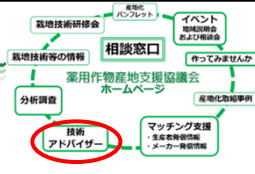
医薬品メーカー側の取引希望条件を掲載する。（生薬品目毎）  
合致する場合には、生産概況をフォームに記入し、お申込みを。



品名	規格	単価
211-001-001	エリナシロウ	1000000
211-001-002	アムロピラシ	1000000
211-001-003	アムロピラシ	1000000
211-001-004	アムロピラシ	1000000
211-001-005	アムロピラシ	1000000
211-001-006	アムロピラシ	1000000
211-001-007	アムロピラシ	1000000
211-001-008	アムロピラシ	1000000
211-001-009	アムロピラシ	1000000
211-001-010	アムロピラシ	1000000
211-001-011	アムロピラシ	1000000
211-001-012	アムロピラシ	1000000
211-001-013	アムロピラシ	1000000
211-001-014	アムロピラシ	1000000
211-001-015	アムロピラシ	1000000
211-001-016	アムロピラシ	1000000
211-001-017	アムロピラシ	1000000
211-001-018	アムロピラシ	1000000
211-001-019	アムロピラシ	1000000
211-001-020	アムロピラシ	1000000
211-001-021	アムロピラシ	1000000
211-001-022	アムロピラシ	1000000
211-001-023	アムロピラシ	1000000
211-001-024	アムロピラシ	1000000
211-001-025	アムロピラシ	1000000
211-001-026	アムロピラシ	1000000
211-001-027	アムロピラシ	1000000
211-001-028	アムロピラシ	1000000
211-001-029	アムロピラシ	1000000
211-001-030	アムロピラシ	1000000
211-001-031	アムロピラシ	1000000
211-001-032	アムロピラシ	1000000
211-001-033	アムロピラシ	1000000
211-001-034	アムロピラシ	1000000
211-001-035	アムロピラシ	1000000
211-001-036	アムロピラシ	1000000
211-001-037	アムロピラシ	1000000
211-001-038	アムロピラシ	1000000
211-001-039	アムロピラシ	1000000
211-001-040	アムロピラシ	1000000
211-001-041	アムロピラシ	1000000
211-001-042	アムロピラシ	1000000
211-001-043	アムロピラシ	1000000
211-001-044	アムロピラシ	1000000
211-001-045	アムロピラシ	1000000
211-001-046	アムロピラシ	1000000
211-001-047	アムロピラシ	1000000
211-001-048	アムロピラシ	1000000
211-001-049	アムロピラシ	1000000
211-001-050	アムロピラシ	1000000
211-001-051	アムロピラシ	1000000
211-001-052	アムロピラシ	1000000
211-001-053	アムロピラシ	1000000
211-001-054	アムロピラシ	1000000
211-001-055	アムロピラシ	1000000
211-001-056	アムロピラシ	1000000
211-001-057	アムロピラシ	1000000
211-001-058	アムロピラシ	1000000
211-001-059	アムロピラシ	1000000
211-001-060	アムロピラシ	1000000
211-001-061	アムロピラシ	1000000
211-001-062	アムロピラシ	1000000
211-001-063	アムロピラシ	1000000
211-001-064	アムロピラシ	1000000
211-001-065	アムロピラシ	1000000
211-001-066	アムロピラシ	1000000
211-001-067	アムロピラシ	1000000
211-001-068	アムロピラシ	1000000
211-001-069	アムロピラシ	1000000
211-001-070	アムロピラシ	1000000
211-001-071	アムロピラシ	1000000
211-001-072	アムロピラシ	1000000
211-001-073	アムロピラシ	1000000
211-001-074	アムロピラシ	1000000
211-001-075	アムロピラシ	1000000
211-001-076	アムロピラシ	1000000
211-001-077	アムロピラシ	1000000
211-001-078	アムロピラシ	1000000
211-001-079	アムロピラシ	1000000
211-001-080	アムロピラシ	1000000
211-001-081	アムロピラシ	1000000
211-001-082	アムロピラシ	1000000
211-001-083	アムロピラシ	1000000
211-001-084	アムロピラシ	1000000
211-001-085	アムロピラシ	1000000
211-001-086	アムロピラシ	1000000
211-001-087	アムロピラシ	1000000
211-001-088	アムロピラシ	1000000
211-001-089	アムロピラシ	1000000
211-001-090	アムロピラシ	1000000
211-001-091	アムロピラシ	1000000
211-001-092	アムロピラシ	1000000
211-001-093	アムロピラシ	1000000
211-001-094	アムロピラシ	1000000
211-001-095	アムロピラシ	1000000
211-001-096	アムロピラシ	1000000
211-001-097	アムロピラシ	1000000
211-001-098	アムロピラシ	1000000
211-001-099	アムロピラシ	1000000
211-001-100	アムロピラシ	1000000

# 技術アドバイザー

栽培や加工調製段階におけるお困りごとを解決するために  
専門技術指導者を現地圃に派遣し、アドバイスをを行う。  
基本的に無償。 売り先（取引先）の紹介は不可。



**薬用作物産地支援協議会**

お問い合わせ | よくある質問 | アクセス

相談窓口 ☎ 03-6284-8087  
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | イベント | 作ってみませんか | 産地化事例 | マッチング支援 | **技術アドバイザー** | 分析調査 | 戻る

ホーム >> 技術アドバイザー

**技術アドバイザー**

本事業は、現在、医薬品の原料生産となる薬用作物の脱地域化に取り組みられている生産者団体に対して、薬用作物の専門技術指導者を派遣して、栽培や加工調製段階におけるお困りごとを解決するためにお手厚い（アドバイス）をさせていただきます。

**2023（令和5）年度の申込受付中**

**技術アドバイザー派遣の流れ**

**技術アドバイザー派遣申込フォーム**

E-mail又はFAXでも受け付けています  
☎ 03-6284-2534  
✉ soudan@yakusanryo-n.org  
📎 Excel形式 | 📄 PDF形式

**技術アドバイザー紹介**



## 分析調査

生産者様においては、試作生産物が日本薬局方の要件をクリアしているかを確認することができる。

※ご希望を全てお受けできる訳ではございません

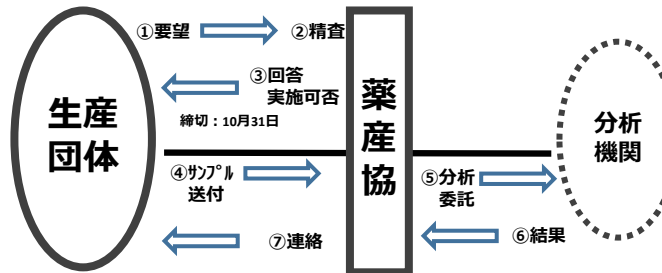
対象品目：漢方・生薬製剤の原料となる、「日本薬局方収載品目」および「局外生薬規格」の範囲  
日本国内で生産された薬用作物に限りです

対象者：法人・農協の部会・農業者で組織する団体等 ※個人での応募は対象外

当協議会は、試作品がどのような生産物となるのかを調査し、今後の支援対策に活用いたします。

ホームページで応募受付中

**令和5年度は、10月31日締め切り！！**



40

薬用作物産地支援協議会

## 情報提供

The screenshot shows the website's search page for '生薬' (Herbal Medicine). The page includes a navigation menu with links for Home, About Us, Events, Local Products, Sales Support, Technical Advisors, and Analysis Survey. The main content area is titled '調べる' (Search) and lists various resources:

- 生薬について (About Herbal Medicine)
- 薬用作物名生薬名対比表 (Comparison Table of Medicinal Crop Names and Herbal Medicine Names)
- 生薬 (薬用作物) についての趣向 (Introduction to Herbal Medicine (Medicinal Crops))
- 生薬の規格 (日本薬局方で規定される内容) (Specifications of Herbal Medicine (Content regulated by the Japanese Pharmacopoeia))
- 厚生労働省「日本薬局方」ホームページ (外部リンク) (Ministry of Health, Labour and Welfare 'Japanese Pharmacopoeia' Home Page (External Link))
- 国立医薬品食品衛生研究所「日本薬局方と関連情報」 (外部リンク) (National Institute of Health and Nutrition 'Japanese Pharmacopoeia and Related Information' (External Link))
- 厚生労働省「日本薬局方外生薬規格2018」 (外部リンク) (Ministry of Health, Labour and Welfare 'Japanese Pharmacopoeia External Herbal Medicine Specifications 2018' (External Link))
- 日産協が使用する生薬の取引状況 (Trading Status of Herbal Medicine Used by Nippon Sanpo)
- 日本漢方生薬協同協会が使用している植物性生薬一覧表(使用範囲) (List of Botanical Herbal Medicines Used by the Japanese Association of Herbal Medicine (Usage Range))
- 日中生薬規格調査結果(日本実績あり) (Survey Results of Japanese-Chinese Herbal Medicine Specifications (Japan Achievements))
- 日中生薬規格調査結果(日本実績なし) (Survey Results of Japanese-Chinese Herbal Medicine Specifications (No Japan Achievements))
- 農林水産省関連 (Related to Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries)
- 農林水産省補助事業で作成された各地域での栽培マニュアル (Cultivation Manual Created by Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries Subsidized Projects in Various Regions)
- 農林水産省補助事業による農業機械等の改良事例(20年～29年) (Cases of Improvement of Agricultural Machinery etc. by Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries Subsidized Projects (20th-29th Years))
- 薬用作物の産地化事例集 (平成31年2月) (外部リンク) (Collection of Cases of Local Production of Medicinal Crops (February 2019) (External Link))
- 農林水産省主催 薬用作物 (生薬) の産地化に向けたシンポジウム 資料 (外部リンク) (Symposium on Local Production of Medicinal Crops (Herbal Medicine) Organized by the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (Materials) (External Link))

## 情報提供

- ・活用できる国の支援策、収入保険制度等
- ・日本薬局方、食薬区分、薬価等
- ・薬用植物資源の確保、栽培技術の確立研究等

薬用作物産地支援

検索

41

薬用作物産地支援協議会

内閣官房の新しい資本主義実現会議より 成長戦略等のフォローアップが閣議決定されました。

成長戦略等のフォローアップ

関連事項  
掲載項目

目次

序言	1
I. 「人への投資・構造的賃上げと三位一体の労働市場改革の指針」関連のフォローアップ	1
II. 「GX・DX等への投資」関連のフォローアップ	2
1. 「GX」関連	2
2. 「DX」関連	3
3. 「科学技術・イノベーション」関連	5
III. 「社会的課題を解決する経済社会システムの構築」関連のフォローアップ	9
IV. 「経済社会の多様化」関連のフォローアップ	10
1. 「デジタル田園都市国家構想の推進」関連	10
2. 「企業の海外ビジネス投資の促進」関連	15
V. 「日本の魅力を活かしたインバウンドの促進」関連のフォローアップ	17
VI. 「個別分野の取組」関連のフォローアップ	20
1. 「宇宙」関連	20
2. 「海洋」関連	20
3. 「対外経済連携の促進」関連	21

令和5年6月16日

42

II. 「GX・DX等への投資」関連のフォローアップ

3. 「科学技術・イノベーション」関連

(4) 再生・細胞医療・遺伝子治療等（医療・医薬品）P7

・漢方について、生薬の国内生産を支援するとともに、国内産業の競争力強化に資する国際標準化を**着実に**進める。

昨年同様の記載ですが、「着実に」が新たに追記されています

43



ご清聴ありがとうございました

薬用作物産地支援協議会